

わきたに 脇谷のりこ通信

無所属/新和会

2024年秋号

ごあいさつ

8月末の台風・竜巻被害に合われた方へ心からお見舞い申し上げます。同時多発的に発生した竜巻は各地に甚大な被害をもたらしました。私が事務所にしていた佐土原町の実家も写真のように被害を受けましたので、佐土原事務所は解体処分で閉鎖いたします。地域の皆様には大変お世話になりありがとうございました。最近は地震・台風・竜巻と自然災害が頻発しています。もしもの時を考えて日頃からの備えと、どこに逃げるかをご家族で話し合っておいてください。今後は、県議会の会派室、あるいは小松台の宮崎事務所にて引き続き皆様方のご意見ご要望を伺ってまいりますので何なりとご相談ください。どうぞよろしく申し上げます。



佐土原町の実家(兼)事務所

県議会議員 脇谷のりこ



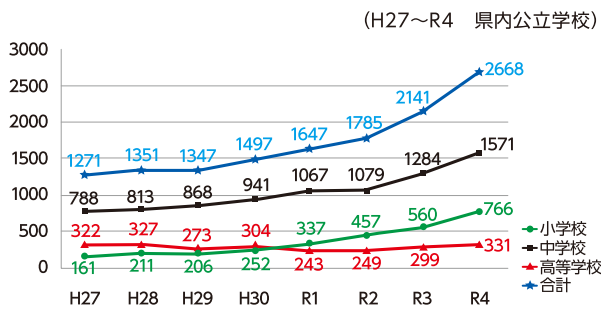
宮崎県議会
公式ちゃんねる



脇谷のりこ
公式LINE

●不登校対策●

宮崎県の不登校(児童生徒数)の現状(令和4年度)



- 全ての校種において過去最多
- 5年前と比べて約2倍の増加
- 学校内外で相談・指導を受けていない



要望していた **専門家の配置** を増員

- ◆スクールカウンセラー(心の相談)53人▶98人
- ◆スクールソーシャルワーカー(関係機関とつなぐ人)21人▶45人

県の教育支援

◆コネクト(宮崎県教育研修センター内)
TEL:0985-24-3171

対象 小・中・高校生、私立・公立関係なく、中退者でもOK

内容 ICT活用した学習や読書、スポーツ、各種体験活動など、教育関係者や支援員、スクールソーシャルワーカーなどが活動のサポートをし、社会的自立を目的とします。



コネクトの1ルーム



研修センターの先生方

市の教育支援

◆まなびバ!(市内8か所)

対象 現在、小学生13名
中学生55名
(里山教室のみ小学生限定)

特徴 学びの保障(学校の教材をもとに学習指導)や受験に向けてのお手伝いなど、学校に戻ることが目的ではなく、心の栄養としての居場所づくり。



まなびバ!
紹介HP



オンライン
相談申込



小戸教室



里山教室

令和6年6月

定例会一般質問

◆一般質問

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 ワークライフバランスにおける子育て支援について
- 3 学校給食の存続について
- 4 マイナ保険証の利用促進について
- 5 宮崎海岸の侵食対策について
- 6 一ツ瀬川の河川行政について
- 7 県管施設の利活用について
- 8 若者(大学生)から見た「希望の持てる未来」について



一般質問動画▶

要望 学校給食の無償化を!!

学校給食は毎月納められる給食費から献立を決めています。

現在の給食費は1人 4500円~5000円/月額

未納や滞納があると...

*安い食材にしなければならない
*採算が合わないからと米飯やパン工場が供給を止めることもある

無償化になると

そのお金はすべて子どもたちのために使われる。児童手当より優先度は高い。親の負担が減り少子化対策になる



だからこそ、**給食費は全国一律無償化**にしてほしい

現在、県内の市町村では国の交付金を使って

- 10市町村 完全無償化
- 9市町村 半額補助や一部補助
- 都城市・延岡市... 検討中
- 宮崎市 多額の予算が毎年必要になるので不可

県の考えは

現在、国は無償化の実現に向け、調査研究をしている。
地域間の差が生じないように一時的な措置ではなく、長期的な視点での支援として、国の責任と財源による制度設計が必要である。よって、**国の動向を注視しながら全国知事会等あらゆる機会を通して国に要望していく。**

●少子化対策

要望1 第2子以降の出産に対する支援を!!

質問 出逢いのための大規模イベント開催などに行政が約7000万もの財源を投入するのはおかしい。もっと、現実的に出産や子育て支援をすべきでは!!

答弁 未婚化・晩婚化が出生数の減少に大きく影響することから、出逢い・結婚支援も少子化対策として欠かすことができない。



要望2 少子化対策にはジェンダーの視点を!!

質問 政策決定は男性ばかり。出産・子育てしているからこそわかる女性の意見を取り入れた施策にするべき。県はどのように反映させているか。

答弁 「宮崎県子ども・子育て支援会議」において意見を伺っている。また、ニーズを把握するため今年度は20~40歳代の女性に対してアンケートを実施する。

九州初

男性の育休取得奨励金事業
(予算1億2,300万円)

男性:県内の中小企業に勤め、4週間以上の育休を取得した場合



- ◆取得した男性に ... 4週間あたり 上限5万円(県単独事業)
- ◆事業者にも 奨励金 (最大100万円を支給)

要望

県スポーツ施設の利活用を!!

質問 ひなたサンマリスタジアム

答弁

天然芝を短期間で現状回復することが課題であったため、今までは野球以外のイベント開催はできなかったが、甲子園球場の芝の管理方法を現地調査し、イベント主催者と傷んだ芝の張替えなどの条件が整理できたことで、9月に「日向坂46」のライブ開催が決定された。今後は、音楽ライブをはじめとする各種イベントなどにも対応できるよう施設の運営を検討する。



質問 ひなた宮崎県総合運動公園テニスコート

答弁

国際大会の基準を満たすインドアコートや照明設備、全米・全豪オープンと同様のハードコートなど、国内トップレベルの施設に整備した。今後は、国際大会や全国大会、国内外代表クラスの合宿等の誘致を積極的に図り、国内の「テニスの聖地」を目指す。



要望

河川改修や樋門の自動閉鎖化を!

質問 一ツ瀬川の河川改修事業の進捗状況は

答弁

一ツ瀬橋から河口付近までの6km区間を重点整備区間と位置づけ、そのうちの3.2kmにおいて河道掘削や堤防補強の工事を集中的に進めており、今年度河口付近の1kmが完成予定。また、佐土原町側の堤防の下を河川側の水が浸透し、砂とともに噴き出すパイピング現象については、地元説明会を行った後に用地測量に着手する予定。



一ツ瀬川下流

質問 樋門の自動閉鎖化の方向性は

答弁

令和4年台風14号の豪雨で、一ツ瀬川上流の西都市で広範囲に浸水被害が発生。6か所ある樋門の2つが閉じられなかったことが原因の一つに挙げられているが、この2つについてはフラップゲート（水圧により自動的に閉鎖）による自動閉鎖化を進めている。今後は、操作員の負担軽減や安全の確保を図るため、市町村の意見を伺いながら、樋門の自動閉鎖化を積極的に進めていく。



樋門の自動閉鎖イメージ

トピックス1

再造林 5/28(金)・29(土)

環境農林水産常任委員会の視察で、再造林等の現地調査及び植栽体験のため「伐ったら植える」の再造林率の高い諸塚村七ツ山の山林に伺いました。急斜面に植えていく作業を初めて体験しましたが大変なですね。

再造林率全国一位を目指している宮崎県。山林関係者の皆様の日頃の苦勞に対し感謝です。



トピックス2

県立宮崎病院にがんセンター設置

・高度な放射線治療の実施【IMRT（強度変調放射線治療）の導入】・がんゲノム外来の新設・手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の機能強化など 令和6年度～予算約4,000万円



令和7年度 新宮崎病院 グランドオープン



ダ・ヴィンチ

活動報告

女性農林漁業者 ネットワーク交流会 1/11 (木)

第一次産業に携わっている女性たちのネットワーク交流会は、平成27年から開催されています。今回は佐土原町交流センターに、JA、漁協、酪農、林業、農業経営者などの女性団体の代表が県内から集まって来られました。山師といえば男性と思われるかもしれませんが、今は、山師も漁師も女性がいて当たり前の時代。パワフルで、将来の夢があって熱い思いの女性がおられることを嬉しく思います。



県議会と宮崎大学の共同授業 1/19 (金)

「大学生と政治の距離を縮めるためには何が必要か?」というテーマで宮大生と意見交換を行いました。学生からは、交通の不便さを指摘。そのほか「働きやすい社会」「年代に偏りなく平等に優遇される社会」「努力が報われ、頑張った分だけ還元される社会」になってほしいとの意見が出ました。学生たちがしっかりとした考えを持っていることに感心し、今こそ私たち大人が若者や子どもたちに希望のある未来を示していかなければならないと強く思った次第です。



パラスポーツ研修会 2/12 (月)

2027年に宮崎県で開催される全国障がい者スポーツ大会に向けて、誰もが参加できる「共生社会とスポーツ」について学ぶ研修会に参加してきました。「アダプテッド」とは、みんながスポーツを楽しむために、ニーズに合わせて競技規則や実施方法を変更し、誰でもできるスポーツをつくることです。10人でイスに座ったままサッカーをするには?という質問が出され、参加者みんなでいろんなアイデアを出して楽しくスポーツができたことに、アダプテッドの面白さを実感しました。障がいのあるなしに関わらず誰もがチームの一員であり、みんなで楽しく、共に協力しあってできるのがスポーツですね。



宮崎の農業技術開発 2/21 (水)

宮崎県の農業の技術開発、新品種の育成など、農産物のブランド化に貢献してこられた宮崎県総合農業試験場にインターンシップ生2名と伺いました。現在の技術開発は、きゅうりの養液栽培や、ニーズに対応した新品種の育成。気候変動に対応した栽培技術や新奇の病害虫に対する防疫体制の確立など。社会や環境に応じて農業も進化していかなければならないのです。それにしても、近年の温暖化で、農業分野は大変ですね。農業試験場のおかげで宮崎県の農業が確立して行ったことに感謝し、さらに発展していくことを願っています。



宮崎の神楽はスゴイ! 3/19 (火)

生目地区には10神社があって、そのうちの9つの神社で春神楽が舞われます。大塚神社もコロナ明けて数年ぶりに春神楽が披露され、それら全てを拝観させていただきました。春神楽は五穀豊穡の舞。田畑が少なくなった地域は、ほとんど舞手も見学者もいなくなって、寂しい限りですが、やはり神楽存続の住民の熱意を感じます。神楽がユネスコ無形文化遺産に登録されたらちよっとは見直されるのでは、と思いつつ次の登録認可を願っています。



念願の信号機 3/23 (土)

昨年の夏休みに悲しい事故のあった横断歩道に念願の信号機が設置されました。数年前から信号機設置に動き、実現できたことはとても良かったのですが、大切な命は戻ってきません。もっと早く設置してもらいたかった...ドライバーの皆様へのルール遵守をお願いしながら、もうあんな悲しい事故が起きませんようにと祈るばかりです。



災害ボランティア 8/30 (金)

佐土原の私の実家も被災したのですが、地域住民からの支援が届いていない赤江・恒久地区の瓦礫撤去作業に行ってきました。私も防災士として、目の前で困っている人の声に手を差し伸べるべきだとの判断で個人で声をかけて20名以上のボランティアが集まってくれたことに感謝です。猛暑の中、芝生や砂利に散乱しているガラス片を一つ一つ取り、家具を2階から下ろし、多くの災害ゴミを搬出するのに汗だくになりましたが、人的被害がなく不幸中の幸いとはいえ、その家屋を見ると被災された皆様のお気持ちが痛いほどわかります。防ぎようもない竜巻の脅威を感じ、今後どのような対応が必要かを改めて考えています。



Profile

- ◆佐土原町生まれ。新富町立富田小・中学校卒
- ◆高鍋高等学校卒業 (新体操でインターハイ出場)
- ◆武蔵野大学 人間関係学部卒業
- ◆フリーアナウンサーとして 約35年
- ◆宮崎市議会議員2期
- ◆宮崎県議会議員1期目
- ◆2021年9月 衆議院議員選挙出馬のため県議辞職
- ◆2023年4月 宮崎県議会議員2期目当選

資格取得

- ◆宮崎県防災士
- ◆宮崎県レクリエーション・インストラクター
- ◆災害時救援ボランティアコーディネーター
- ◆認定心理士

趣味

- ◆コーラス (くすの木: 渡邊先生)
- ◆フラ (ヒロフラスタジオ)

ご意見、ご感想をお寄せください

脇谷のりこ連絡先

宮崎事務所
〒880-0956
宮崎市小松台南町11-8

☎090-8416-4546
FAX: 0985-47-9645
✉nory22@lib.bbq.jp



公式LINE